

FUKUOKA HIGASHI

会長 塚田征二 幹事 松田 修

2024-2025年度
国際ロータリー会長
ステファニー A.アーチック

第2700地区ガバナー
野崎 千尋

地区のテーマ
「変化につよく、未来をひらく」

クラブのテーマ
「歴史を学び、国を愛し、ロータリーを語ろう」



月信はコチラ



例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前2丁目18-25
ホテル日航福岡
TEL:092-482-1111

事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目17-23
ホテル日航福岡別館3F
TEL:092-482-1109 FAX:092-482-1105
E-mail:fhrotary@aurora.ocn.ne.jp
<http://fukuoka-east-rc.jp/>



HPIはコチラ



松田 修 会員 撮影

「早春賦 宗像にて」

本日のプログラム

1. 本日の歌
2. 来訪会員紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 卓話の時間
「人生100年時代の健康づくりのすすめ」
産業医科大学 元教授 池田政春 様

本日の歌

我等の生業
1、我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おおロータリアン
我等の集い

本日の料理

中華弁当
紅花入り芙蓉スープ
チャーハン
マンゴープリン

今月もあと残り僅かとなりました。2月は如月という呼び方をしますが、日本の和歌史上に残る名歌があります。西行が詠んだ歌です。

願はくは花の下にて春死なむその如月の望月のころ

この場合の「花」は桜のことです。如月は2月と言いましたが、歌が詠まれた時代は旧暦です。従って「望月のころ」は新暦で云うと3月末頃になります。西行は融通無碍(ゆうづうむげ)の人で得度した後、真言宗の高野山で修行をし、弘法大師を非常に尊崇していました。また、伝教大師最澄を慕って比叡山延暦寺でも修行しています。最澄と言えば天台宗の開祖で、僧籍にありながら皇室への尊崇の念が篤い人でした。そして西行も同じ心を持っていて、旅に出る時は上賀茂神社の前まで行き、当時僧侶は境内に入れませんでしたので鳥居の外から旅の無事を願って神々のご加護を祈り、旅から戻れば奉告の為に上賀茂神社に詣でることをしていました。晩年の6年間は伊勢で過ごして神宮の神官たちと親しく交流し和歌の指導をしています。その頃に次の和歌を残しております。



なにごとのおはしますかは知らねどもかたじけなさに涙こぼる

西行が皇室を尊崇するのは、藤原氏の流れをくむ北面の武士であったからであります。しかし、根本には当時の人々は本地垂迹(ほんじすいじゃく)説を信じていたのだと思います。本地垂迹とは、八百万(やおよろず)の神々は実は仏が化身となってわが国に現れた権現(ごんげん)とする考え方です。

私も齢80を超えました。西行のように桜が満開の時に死にたいと思いますが、願わくば、若い女性の膝枕でその時を迎えたいと思っています。叶わぬ願いかもしれませんが…。(先週、西行は法然のもとで得度したと述べたのは私の勘違いでした。法然が浄土宗を開いたのは西行の晩年の頃です)

～例会で「出会い」「学び」「楽しみ」ましょう～

出席報告 2月20日 出席委員会
 会員:60名(うち免除会員4名) ゲスト:岩田智子様(卓話者)
 斉藤康平様(例会見学) ビジター:2名(大阪1名・小倉中央1名)
 合計:64名 << 在籍会員:80名 うち免除会員4名 >>

当日出席率: 76%

修正出席率

1月23日 84%
 1月平均 83%

～ にこにこ袋 ～ 2/20 3件 13,000円 累計 814,700円 渡部 - SAA

塚田征二さん:本日の卓話、岩田智子さんは障がいの有無に関わらず日本舞踊等で脳を鍛えるという活動をされていると伺いました。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

坂口洋介さん:本日オブザーブのさいとうこうへい君です。皆さま宜しくお願い致します。

橋本道成さん:本日は塚田年度第3回目の情報集会です。ご参加の方は、午後6時半に新館地下1階にお越しください。

ロータリー情報集会

2025年 2月20日(木)

ホテル日航福岡にて

14名の方にご参加いただきました。
 次回もお待ちしております!



コスメアップサイクルイベント(社会奉仕委員会)報告

2025年 2月22日(土) 学校法人なぎの学園 花畑幼稚園にて



<今日の歌> 「2700のマーチ」

ソングリーダー: 上杉啓三親睦活動・ロータリーソング委員
伴奏: 高野悦子さん

<会長の時間> 塚田征二会長

<幹事報告> 松田 修幹事

- ・IM出欠メ切が昨日でした。お返事がまだの方は早急に。
- ・昨日、地区補助金事業のボランティア活動に立花委員長、田村会員と参加しました。活動の実際が理解できました。3月第1例会ではNPO法人グッドネイバーズジャパンより講師をお迎えします。財団事業にご理解、ご参加願います。

<委員会報告>

◆社会奉仕委員会 坂口洋介委員長

- ・2月22日(土)なぎの学園花畑幼稚園にてコスメアップサイクルイベントです。ぜひご参加ください。

<卓話の時間>

「障がい者に日本舞踊30年『無限の可能性』を」 岩田智子(聖幻)様

1. 舞踊への想いと原点

岩田智子さんは幼少期より日本舞踊に親しみ、その奥深さと美しさに魅了されてきました。舞踊は単なる芸術表現ではなく、「心を映す鏡」であり、踊る人の精神性や人生観を映し出すものだと考えています。その信念のもと、障がいをもった子どもたちにも表現の場を提供する活動を始めました。特筆すべきは、岩田さんが障がいを持つ子どもたちに日本舞踊を教えるようになったきっかけです。30年前、盆踊りの舞台上で踊っていた際に、障がいをもつお子さんの保護者から「うちの子にも教えてもらえませんか？」と声をかけられたことが始まりでした。その一言が岩田さんの心を動かし、そこから30年にわたって継続的に障がいをもつ子どもたちへの指導を行っています。長年の継続こそが、岩田さんの真摯な思いと社会貢献の精神を物語っています。日本舞踊は型を覚えるだけでなく、礼儀作法や所作、心の落ち着きなどを養うことができます。岩田さんはこれを「心の教育」と位置付け、誰もが自分らしさを表現できる手段として舞踊を活用しています。

2. 障がいをもった子どもたちへの支援と限界を超える気づき

障がいをもつ子どもたちへの舞踊指導は、岩田さんの活動の中でも特に重視されている取り組みです。岩田さんは、「子どもは本来、何でもできる力を持っている。しかし、親が『この子は障がいを持っているからどうせできない』と決めつけてしまうことが、子どもの可能性を狭めてしまう」と強調します。

30年前に声をかけられたその日から、岩田さんは一貫して「子どもはできて当たり前」という考えのもとで指導を続けてきました。障がいの有無に関わらず、子どもたちは無限の可能性を持っていると信じています。舞踊を通じて子どもたちが生き生きと踊る姿を見た親御さんたちは、自分が無意識のうちに子どもの限界を決めていたことに気づきます。その瞬間、親自身もまた成長し、子どもとの関係性にも深い変化が生まれるのです。このメッセージは障がいの有無に限らず、あらゆる人に当てはまる気づきでもあります。私自身も能力の限界や環境のせいにしてしまっていたことを反省させられました。岩田さんの言葉は、自分の可能性を信じて一歩踏み出す勇気を与えてくれます。

3. 文化継承とグローバルな交流

岩田さんは文化継承の重要性についても強調しています。日本舞踊は日本独自の美意識や価値観を体現しており、次世代へと受け継いでいくべき貴重な文化です。岩田さんは国内のみならず、ブラジルや他国でも公演を行い、国際交流を通じて日本文化の魅力を発信しています。また、留学生との舞踊交流事業では、言語や文化の壁を超えて互いを理解する機会を創出しました。舞踊を通じた国際的な交流は、日本舞踊の新たな可能性を広げるだけでなく、文化を通じた平和構築にもつながります。

4. 舞踊を通じた心身の鍛錬

岩田さんの舞踊指導は、「体力」「心力」「脳力」の三つの力をバランスよく鍛えることに重きを置いています。体を動かすことで体力を養い、型を学ぶ過程で集中力や記憶力を鍛える。さらに、舞踊の奥深い表現を理解し、自分自身の感情を表現することで心の成長を促します。この「三力」の鍛錬は、障がいをもつ子どもたちにとっても大きな成長の機会を提供します。日常生活で感じる困難を乗り越える力を養うことで、社会での自立を後押しする役割も果たしています。

5. 社会貢献とこれからの展望

岩田さんは、舞踊を通じた活動を「社会貢献」と位置付けています。舞台上立つ子どもたちの姿は、観客に大きな感動を与えます。その感動は「障がい」という壁を取り払う一助となり、社会全体が多様性を受け入れるきっかけとなるのです。今後は、より多くの地域や学校との連携を深め、舞踊を通じた教育プログラムを全国に広げていくことを目標としています。また、舞踊を通して障がい者と健常者が共に舞台上立つことで、多様性を尊重し支え合う社会の実現を目指しています。

6. 岩田智子さんからのメッセージ

「舞踊には、人の心を癒やし、つなぎ、強くする力があります。子どもはできて当たり前。障がいを理由に親が可能性を制限してはいけません。舞踊を通して子どもたちが生き生きと輝く姿を見たとき、親御さんが気づくのです。『自分が子どもの限界を決めていた』と。私はその気づきの場を提供することが使命です。あの日、盆踊りの場で声をかけてもらったことが、私の人生を変えました。それから30年間、私は子どもたちの成長を信じ、共に歩んできました。舞踊を通じて、一人でも多くの人が笑顔になり、自分自身を誇りに思える社会をつかっていきたい。」

～結びに～

今回の卓話を通して、岩田智子さんの活動やその根底にある考え方を深く知ることができました。舞踊を通じた文化継承と社会貢献、そして障がいをもった子どもたちへの支援は、福岡東ロータリークラブの理念とも通じるものであり、多くの示唆を与えてくれる内容でした。さらに、「子どもの限界を決めつけないこと」の重要性や、30年間にわたる継続的な活動の尊さについても学ばせていただきました。今後も岩田さんの活動が、さらなる社会的意義をもつものとして発展していくことを期待しています。(記: 田村志朗会員)



■持回り理事会議事録■ 2025年 2月20日(木) ホテル日航福岡

- 1. 地区委員委嘱について
危機管理委員会:大神朋子会員・矢野亮介会員

<承認>

●次年度理事会議事録● 2025年 1月23日(木) ホテル日航福岡

- 1. 次年度委員会編成について
- 2. 次年度スケジュールについて

<継続>
<継続>

■今後の行事■ 2月は「平和構築と紛争予防月間」です

- 3月 5日(水) 福岡東RCゴルフ同好会コンペ
8:00集合 福岡カンツリークラブ 和白コース
- 3月22日(土) 第4グループIM(例会) 13:00~16:30
電気ビル共創館4F みらいホール
※例会は11:00からとなります
- 3月27日(木) 春の会員家族懇親会(夜間例会) 18:00
ホテル日航福岡3F 都久志の間
- 4月11日(金) 親睦ゴルフ大会 小郡カンツリー倶楽部
- 4月12日(土) 第2700地区 地区大会 ホテル日航福岡
- 4月13日(日) " 福岡国際会議場

3月 6日(木)卓話予定

橋本道成 会員

グッドネーバース・ジャパン
国内事業部 グッドごはん九州課
緒方優美 様

■幹事と事務局からのお知らせ■

=プログラム委員会より=

2024~2025年度<塚田年度>「心のごちそう(卓話)」はこちらからチェック!
今年度の卓話予定表です。お楽しみに!



[例会変更]

- 福岡イブニング 3月 3日(月) → 1日(土) 第5グループIM
- 太宰府 3月11日(火) 夜間例会
- 福岡城南 3月19日(水) → 22日(土) 第4グループIM
- 福岡東南 3月21日(金) → 22日(土) 第4グループIM
- 福岡平成 3月24日(月) → 22日(土) 第4グループIM
- 福岡イブニング 3月24日(月) 観桜会
- 福岡南 3月27日(木) お花見夜間例会
- 福岡東南 3月28日(金) 18:30 RC・RAC・RSC合同夜間例会
- 福岡北 3月28日(金) 18:30 花見夜間例会 日本料理てら岡
- 福岡城東 3月29日(土) 花見例会
- 福岡西 3月31日(月) 17:30 お花見夜間例会・懇親会

[例会休会(メーキャップ不可)]

- 2月28日(金) 糸島 3月19日(水) 宗像
- 3月 8日(土) 福岡城東 3月21日(金) 福岡北・糸島
- 3月17日(月) 福岡西・福岡平成 3月22日(土) 福岡城東
- 3月18日(火) 福岡城西・博多・太宰府

福岡東令和あけぼのロータリー衛星クラブ 例会のご案内

- 日時: 2025年 3月12日(水) → 3月22日(土) IM ※メーキャップ不可
2025年 3月26日(水) 18:45~19:30 (食事なし)
- 場所: エス・ケイコーポレーション(株) 会議室
福岡市博多区博多駅前2-10-19 福岡ファッションビル3F

あとがき: 2月22日に薙野さんの経営されてある花畑幼稚園にて社会奉仕活動で「コスメアップサイクルイベント」に出席させていただきました。廃棄予定の化粧品類などを使って園児さんたちと楽しく卒園制作を行いました。お礼に園児のみなさんが合唱と演奏を披露してくれたのですが、本当に心から感動しました!!! お世辞抜きでクオリティがすごすぎました!!! 薙野さん、坂口委員長、ご参加の皆様、園児・先生の皆様、有難うございました(^ ^)

川畑輝雅

クラブ会報委員会 委員長:寺岡裕子 副委員長:藤川秀幸 委員:古川知明 宮本由希 田中浩成 川畑輝雅